

第 19 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2014 年 12 月 15 日(火) 10:00~12:00
場 所：長部地区コミュニティセンター
出席者：22 団体 34 名（内オブザーバー3 団体 6 名）
進行：酒井（事務局）
文責：三浦（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:05）

➤ 運営委員会の報告

基本的に隔月で開催していたが、11 月、12 月は連続で開催し、PF が考えるまちづくりのビジョンづくりを進めている。市の復興計画に記載の 6 つの基本方針に沿って、PF が考えるまちのビジョンを考えており、今月にまとめを行った後、次月皆様にご報告させて頂く。

2. 活動報告（全体）（10:10~10:30）

- ・ 年末年始の休業について各団体から共有。
- ・ 初参加、及び前回参加時から間が空いている団体からは活動の報告を共有
- ・ その他は特にイベントやニーズ等共有したい事項がある団体が挙手にて報告
- ・ 質問あれば適宜。各団体 2~3 分程度で報告

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 19 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載

◆年末年始の各団体休業状況

団体名	休業状況
NEC ネットエスアイ（ひまわりハウス）	12/27~1/5 まで
いわて連携復興センター	12/27~1/4 まで
もっちいと森の仲間たち&いわて結っこ花巻	12/29~1/4 まで
ジャパン・プラットフォーム	12/27~1/4 まで ※岩手担当高久は 12/20~1/4 まで岩手に不在
陸前高田市仮設住宅連絡会	12/27~1/4 まで
いわて生活協同組合	復興支援担当 1/1~1/4 まで
岩手大学 三陸復興推進機構	12/27~1/4 まで

陸前高田まちづくり協働センター	12/30～1/4 まで
まるごとりくぜんたかた協議会	12/27～1/4 まで
大船渡地区被災者相談支援センター	12/27～1/4 まで ※期間中の問い合わせは合庁へ
いわて三陸 復興のかけ橋プロジェクト	12/27～1/4 まで
陸前たがだ八起プロジェクト	12/26～1/3
高田大隅つどいの丘商店街	商店街各店舗による ※事務局は 12/30～1/4 まで
生活協同組合コープあいち	1/1～1/4 まで ※連絡は対応可能
教育支援チーム「まつ」	1/29～1/5 まで
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	12/29～1/4 まで
P@CT	12/28～1/6 まで 二又復興交流センターは 12/30～1/3 まで
難民支援協会	12/27～1/4 まで
陸前高田市民生部被災者支援室	12/27～1/4 まで ※期間中の問い合わせは市日直へ

◆活動報告

15～16	まるごとりくぜんたかた協議会（陸前高田市商工観光課）／桑原	<p>2014年7月に観光物産協会の一専門部会としてスタート。活動は本年度4月から始めており、陸前高田の交流人口拡大を図る観光プラットフォームと位置付けている。陸前高田に毎年繰り返し来ていただいている大学、企業等に高田ならではの交流や体験をメニュー化して提案、受け入れとノウハウ作り、実績作りを進めている。</p> <p>トピックスとして、9月～12月まで富士通の新人社員研修500名（全18グループ）を先週まで受け入れ。漁業体験、農業体験等をコーディネート。同じく9月から市内有志と陸前高田の観光を考えつつ観光メニューを作成、観光プレイヤーを増やすために「まるごと実践会議」を4回実施。今後はテーマ別の部会を作り、部会ごとに開催、着地型観光の商品を様々つくっていききたい。</p> <p>今後のテーマの一つとして民泊があり、民泊の受け入れ態勢を各町で作っていききたい。先行して、12/11日に広田でNPO法人SETと連携して、民泊説明会を地元の漁師、農家と開催した。今後スピードアップして進めていききたい。本</p>
-------	-------------------------------	---

		日の参加団体とも今後連携していきながら、高田ならではの外からのお客様の受け入れ商品を作っていきたい。
22	生活協同組合コープあいち／岩本	陸前高田には1ヵ月に1週間来られるかどうかという日程になっている。愛知では、愛知に避難している500世帯1000人程度の人たちを支援するために県が支援チームを結成しているが、横のつながりが減ってきている。友好都市を結んだこともあり、商工だけでなく繋がれる部分もあると思う。機会は少ないが継続的に交流をしていきたい。
29	電通／谷口	被災地の政府広報として岩手朝日放送で「希望のかけはし」、テレビ岩手で「手をつなごう岩手」をオンエア。ラジオはIBC岩手、FM花巻、ラジオ盛岡、釜石災害FM、宮古ハーバー等で番組を作っている。団体の活動を番組化して放送したり、課題に対しては政府施策を案内したりという発信をしている。今日はオブザーブで、参加者のニーズの話など聞ければと思う。
28	陸前高田市地域女性団体協議会／佐々木	課題は非常に重いものがあり、今悩んでいることは容易に解決できるものではないが、震災前から地域が抱えてきているもの。男女共同参画に繋がるが、女性がなかなか前に出られないこと等あり、組織が震災前から壊れかけていた。そこに津波が来て大きく破壊した。組織の立て直しが非常に重い。世代交代をしていきたい想いもあり、そこが一番大きいところ。もう一つ、震災が大きかったので、今回の体験をいかに整理し、女性が防災にどう関わっていくか、見通しを立てていきたいと思っている。ボランティア等で他市町村から来ていただいている方の支援をありがたいと思いつつ、従来から持っている課題とどうマッチングしていくか、横に繋がっていききたいと思いつつ、なかなかできずにいる。女性リーダーの中でもこの場に参加していない人もいますので、そういう人たちも仲間に入れて頂きつつ、市民レベルの考えをどう生かしていくかということを考えていきたいと思ひ参加させて頂いた。

◆イベント情報、お知らせ等共有

高田大隅つどいの丘商店街／山本

- ・ 商店街の自主事業として、中越被災地の訪問研修を実施、その報告会を12/21日13:30から実施する。何を見てきたか、どんな取り組みを実施してきたか、興味のある方に来

ていただきたい。同時に SAVE TAKATA が行った奥尻島視察についても共有する。

- ・ NPO 法人 HANDS から相談があり、NPO 法人きらりんきっずに関わる動きとして、未就学児を持っているお父さんのサークルを立ち上げられないかと考えている。一関でグループを作っているが、高田でもそういうグループができればと思っている。興味がある方がいれば山本までお声がけいただきたい。

P@CT/ 楽久保

- ・ 復興サポートステーションの次年度事業継続に向けてのクラウドファンディング挑戦中。ご協力をよろしく願いたい。
- ・ 二又復興交流センターでは、富士通の社員研修がひと段落したところで稼働に余裕がある状況。食堂スペースを活用して、持ち込みになるが忘年会や新年会にお使いいただきたい。飲んでそのまま宿泊も可能なので、ぜひお越しいただきたい。

結っこ花巻/望月

- ・ 11/30 日にみんなの座談会を実施。参加者 150 名。とても有意義だった。内 50 名は内陸避難者の方で、質問等も出された。次回は防災姉妹校設立準備会、被災地に入っている大学それぞれが来て去っているが、そのスキルやノウハウをそのままにしては勿体ないので、筑紫女学院、岩手大学等で組んで、来るべき南海トラフに備えられるようなシステムづくりをするために、大沢温泉の自炊部で設立準備会を実施する。
- ・ みんなの座談会の報告は、結っこ花巻のブログを参照。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン/平瀬

- ・ 11/20 日の世界子どもの日に合わせて、「Future」を発行。子どもまちづくりクラブの子ども達の活動をまとめたので、ぜひご覧いただきたい。

3. 意見交換・現状の活動などの抽出/共有(テーブル議論)

<1G:地域・コミュニティ>

>意見交換

- ・ 大槌のコミュニティ協議会について事例共有。
- ・ これから NPO がどう関われるかのフォローについて検討。最初のきっかけづくりは大事である。
- ・ 公営住宅の備品をどうするかという話が出た。在庫管理をうまくまとめて、公民館や集会所に持っていったらいいのではないかというアイデアが出された。

<2G教育・子ども/女性・子育て>

- ・ 陸前高田市地域女性団体協議会から陸前高田市の現状や支援団体にこういう形で地域に関わってほしいという現状を話していただいた。
- ・ 話を受け、これまでの議論内容が間違っていなかったことを確認

- ・ この場に参加していない団体に話を聞きたいという流れにはいるが、子どもと女性
性は団体として考える時には対象で団体を分けて、どういうところにアクションを取っ
ていくか考えていく。

<3G 商業・観光・産業>

- ・ まるごとりくぜんたかた協議会が加わっての初めての情報交換。
- ・ 分科会でのアイデアとまるごとりくぜんたかた協議会で連携していこうという話に
はなり、合言葉を検討。
- ・ 「45号を左折せよ」。高田の中に入ってもらい回遊してもらおう。左折した先に「寄って
けライン」エリアを作り、町ごとに作って二又まで持っていくというアイデア。
- ・ 市外向けにインパクトのあるキャッチコピーとして、「一度地図から消えたまち」。一度
地図から消えたまちでまちづくりに取り組んでいきますよという意味。
※ 言葉の捕捉：まるごと実践会議の中から、陸前高田で観光を考える時に大事にした
いことを話し合っていた時に参加者から出た。外に発信する時のポイントは、未曾
有の震災から立ち上がり今生きている一人一人の人。このまちに生きている一人一
人がこのまちの魅力であることを伝える言葉として、このキーワードが出た。
- ・ これをみんなの合言葉としてまちづくりに取り組んでいけたらいいのではないか。ただ
しこのグループから出た言葉ではないので取り扱い注意。

【次回の開催日程】

- ・ 第20回支援連絡調整会議
1月20日(火)10:00~12:00 ※会場及び詳細は別途連絡